

大会再開に向けた感染拡大防止ガイドライン

公益財団法人全日本なぎなた連盟

大会を再開するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止等の留意点を示したガイドラインを作成しました。政府・自治体の方針、地域の感染状況など十分考慮の上、安全に大会を開催してください。

<主催者>

1. 会場を設定する際、密集対策には十分配慮する。
2. 応援者・観客については、十分な密集対策ができない場合は無観客で行う。
3. 大会要項を作成する際、「新型コロナ対策留意事項」の徹底を図る。
4. 大会要項の「留意事項」を遵守できない場合は、出場できない旨を明記する。
5. 開・閉会式を実施しないなど、競技時間短縮に向けた検討を行い、感染リスクの低下をはかる。
6. 会場設営の際、感染防止に関する注意事項を掲示し、周知を図る。
7. 手洗いを励行し、適切な場所にアルコール消毒場所を設置する。
8. 会議室、控え室など複数の人が出入りする場所の消毒、換気を行う。
9. 審判・監督会議等の打ち合わせについては、十分な距離をとり、密閉にならないように換気を行う。
10. 関係者は大会ガイドラインを守り、安全な大会の運営に協力する。
11. 感染拡大の状況によっては、大会を中止する必要があることをあらかじめ要項等へ明記する。

<大会参加者>

1. 以下に該当する者は参加できない。
 - (1) 発熱のある者〈個人差はあるが、一般的に37.5度以上あるもの〉
 - (2) 咳・咽頭痛など風邪の様な症状がある者、その他体調がよくない者
 - (3) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (4) 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は該当在住者との濃厚接触者である場合
2. 大会当日検温を行い健康調査票〈別紙〉を大会会場に提出する。
3. マスクを持参する。
4. 競技時以外はマスクを着用し、こまめに手洗い〈30秒以上〉、手指消毒を行う。必要以上の会話は避ける。
5. 会場では、三密〈密閉・密集・密接〉を避けるように心がける。
6. 参加者同士の大きな声援、指示、指導は行わない。競技時以外は決められた場所で周囲との距離を保って観戦する。
7. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発生した場合は、主催者に速やかに報告する。

<監督・引率者>

1. 大会に参加する場合、本人、保護者の参加同意を得ること。〈体調不良の場合は参加させないこと〉家族に体調不良者や、渡航禁止地域からの帰国2週間以内の参加は控えさせること。
2. マスクの着用及び体調確認を行う。
3. 手洗い、手指・足底の消毒を行う。
4. 用具〈なぎなた、防具、手ぬぐい等〉や水分補給は個人のものを使用する。共有はさせないこと。
5. 競技に関する指導だけでなく、感染予防対策について十分に周知すること。
6. 必要な指示は簡潔に済ませ、競技中は大きな声で応援や指示は控えること。
7. 当日検温を行い、定められた健康調査票を提出すること。
8. 応援関係者を把握しておくこと。

<応援者・観客>

1. 体調不良者の入場は認めない。
2. マスクを着用していない者の入場は認めない。
3. 指定の場所で、周囲の者と十分な距離を保つように求める。
4. 手洗い、手指消毒を行うよう注意喚起する。
5. 大声での声援は禁止とし、会話を控えることを周知する。
6. 上記の事項について、遵守できない者は退場を求める。

<当日受付>

1. 自宅と大会会場との往復の際にはマスクを着用し感染予防につとめる。
2. 入口に手指消毒液を設置し、大会参加者は消毒を行う。
3. 待機列が発生した場合は距離を置いて並ぶ。
4. 健康調査票を確認し体調不良、発熱がある場合は入場を制限する場合がある。
5. 37.5度以上ある者は、入場できない。

<その他>

1. 飲食は、指定場所で行い、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
2. 食事の空き箱等、持参した物、ゴミは必ず持ち帰ること。
3. 会場・施設のガイドラインに従うこと。